

地域と育てる中学生！「スクラム二中！」**越前市武生第二中学校****1 取り組みの概要****(1) 地域や家庭と学校の連携実績**

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	8回(のべ)8日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	7人
授業ボランティア(含:低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア (下校時保護者約1500人)	
その他(読み聞かせボランティア)	22人

(3) 特色ある活動

テーマ 「心の教育の充実」

2 具体的活動内容**(1) 黒米(奥羽紫国米)の栽培 ※2年生対象**

黒米栽培の活動を通して、勤労の大切さを自覚し環境へ配慮する心情を養うとともに、郷土愛を育て社会貢献の意義と喜びを育てることを目的とした。

生徒達は、種まき・粋つけ・田植え・籾殻まき・肥料撒き・稲刈りを体験し、生育の記録をまとめていくことで、稲作作業の一連の流れを理解し、勤労の大切さや大変さに気づくことができた。また、田植えでの体験から田んぼに空缶や石を投げ込むことの危険性を認識し、農家の人の苦労も理解できたようだ。

文化祭では、育友会(PTA)が中心となり黒米うどんの試食会を実施したが、校区内外から約400名もの来校者があり、地域住民との交流を図ることで、地域に開かれた学校づくりの一翼を担うことができたと考える。

(2) 福祉体験学習「老人介護施設訪問を成功させよう！」 ※3年生対象

「お年寄りとの交流活動等を通して、お年寄りの気持ちを理解し、お年寄りに楽しんでもらおう」という目標を立てて、達成に向けてインスタントシニア体験・車椅子体験・介護体験等の疑似体験学習を重ねた上で介護施設を訪問した。本物の介護体験を通して、疑似体験では気づかなかった問題に気づき、現代の高齢者問題は将来の自分の問題でもあることを認識させるよい機会となったようだ。また、市の伝統的な催し物である菊人形に、説明する立場に立つて関わることで、郷土を見つめ直す一助にもなったと思われる。

**3 成果と課題**

黒米栽培を通して、勤労の大切さや大変さを学ぶことができたことは言うまでもないが黒米うどんの試食会を実施したことで、地域住民との交流が図られ、学校に対する地域の理解も深まっていると考える。また、福祉体験学習では、高齢者の方々の苦労や心情を理解することができ、いずれは自分自身も抱える問題であると気づくことができたようだ。

しかし、上記のような体験活動を実施するためには、教員の負担がかなり大きいことと来年度以降は総合的な学習の時間が週2時間になるため、十分な時間が確保できない可能性があるため、活動内容や準備計画を見直し精選していく必要があるだろう。

